

車両（更新日）	配置場所	特徴・効果（購入金額は税込）
<p>はしご付き消防自動車 （令和8年3月26日）</p>	<p>中消防署</p>	<ul style="list-style-type: none"> はしご操作を記憶して同じ動作の再現が可能となる機能を付けたことで、救助や放水の開始までにかかる時間の短縮につながり、より多くの人を早く救出できるようになりました。 隊員が搭乗するバスケットの許容荷重を 270 kgから 400 kgに増やしたほか、奥行きが 10 cm拡大したことで、空気呼吸器を背負った隊員が活動しやすくなりました。 <p>〔購入金額〕 218,240,000 円</p>
<p>水槽付き消防ポンプ自動車 （令和8年3月23日） （令和8年3月25日）</p>	<p>足助消防署</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防水利の確保が困難な地域に対応し、より多くの放水時間を確保するため、積載水量を1,500Lから2,000 Lに増量し、CAFS（圧縮空気泡消火装置）を装備しました。 本車両を運用する足助地区には、全国有数の観光名所である「香嵐渓」があり、車両後部のシャッターには、香嵐渓を象徴する「もみじの葉」の反射材をちりばめ、地域の魅力を最大限に発信できるように工夫を凝らした地域密着型の1台となっています。 <p>〔購入金額〕 81,501,750円</p>
	<p>藤岡小原分署</p>	<ul style="list-style-type: none"> 枯草火災等に車両積載水などで対応できるように、積載水量を1,500Lから2,000Lに増量しました。 救助工作車の到着まで時間を要する管内事情を考慮し、電動の大型カッターやスプレッダーなどの救助資機材を積載しました。 車両が進入できない、川・池等から揚水するために、可搬式小型動力ポンプを新たに積載しました。 <p>〔購入金額〕 87,128,250円</p>
<p>小型動力ポンプ付き積載車 （令和8年3月18日）</p>	<p>下山出張所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハイエースを消防用に赤く塗装した自動車です。 小型動力ポンプ一式やホースなどを積載しており、消火活動を行うことが可能です。 車両を小型化し、機動力を向上させることに重点を置き、消防ポンプ自動車から小型動力ポンプ付き積載車へ仕様変更しました。 <p>〔購入金額〕 13,420,000円</p>



【「もみじの葉」の反射材】